

令和4年度第1回介護保険運営協議会等質問書に対する回答について

お忙しい中、資料の確認いただき、誠にありがとうございました。

ご質問いただいた内容につきまして、下記のとおり回答いたします。

(介護保険運営協議会)

<p>質問1</p> <p>資料1</p> <p>要介護5が18名減で要介護4が43名増になっているが、基準に変化があったのでしょうか？</p> <p>単に状態が改善されたので、介護度が下がった方がいたからでしょうか？</p> <p>教えてください。</p>
<p>回答1</p> <p>介護認定の基準等は変わっておりませんが、ご質問のとおり要介護5の方が減り、要介護4の方が増えている状況とともに、要介護3の方も17名減っています。令和4年3月末時点では、軽中度の方が重度化したことにより要介護4の方が増え、また一方要介護5の方については、高齢による衰弱や疾患の悪化等により亡くなる方がいるため、減になったと考えています。</p>
<p>質問2</p> <p>資料2</p> <p>P5(6) 高齢者の居住支援の項目で高齢者の入居を拒まない賃貸登録の事態(数など)を知りたいです。</p>
<p>回答2</p> <p>現在、県に登録されている二宮町に所在するセーフティネット住宅については、令和5年2月現在で26棟187戸あります。</p>
<p>質問3</p> <p>資料2 P.7 1 生きがい活動の推進(2) ゆめクラブの支援</p> <p>会員減の対策として魅力的な活動の取り組みや情報提供とはどのようなことですか？</p> <p>具体的に教えてください。</p>
<p>回答3</p> <p>毎年町広報紙に、ゆめクラブの会員募集や、魅力ある活動を紹介する特集記事を掲載しています。(令和4年度は2月号に掲載しています。)</p> <p>また、今年度はクラブ創立60周年であったことや、ねんりんピック(全国健康福祉祭)が神奈川県で開催され、協賛イベントとしてカーリンコン大会を開催したことなども広報紙やホームページ等で周知を行い、活動の情報提供をしております。</p>
<p>質問4</p> <p>資料2</p>

基本目標5 介護サービスの充実

1 居宅サービスの充実

(2) リハビリテーションサービスの提供体制の構築

具体的にどのようなサービスの提供がされたのか？又成果について、どうだったのかをお願いします。

評価がDなのできびしかったですと思いますが、今ある機能をどのように維持し、「生活機能」につなげていくかはとても大事だと思います。

高齢者の本音は「やりたくない」「面倒」という気持ちがあると思うので。

回答4

具体的なサービスとしては、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けた訓練を行うものとして、介護保険制度に基づき、要介護・要支援の方に訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーション等を提供していますが、町としても要介護認定を受けていない方や介護度の軽度者に対する自立支援・重度化防止の観点からでのリハビリテーションの提供は、今後の課題と思われため、評価を「D」といたしました。なお、地域ケア個別会議においては、リハビリテーション専門職（作業療法士等）に参画いただいております。今後、活動・参加に着目したマネジメント意識の向上をはかってまいります。

質問5

4 サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営

(3) 介護人材の確保

二宮町の介護人材確保に係る取組みはどうなっているのでしょうか？

現状と今後の予定を教えてください。

例えば、

- ・町内、小・中・校生へのアピール
- ・生き生きと働いている職員の紹介

回答5

町では、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）を受講し、在宅介護をはじめホームヘルパーとして介護サービス事業所や地域で活躍する方を支援するため、研修受講に係る経費の一部及び町内介護事業所へ就労をした際に支援金を補助金として助成しています。

（内容）

介護職員初任者研修の受講料（教材費を除く）の2分の1を補助金とし、補助金の限度額は20,000円としています。

本補助金を利用して介護職員初任者研修を修了し、1年以内に町内にある事業所へ就職・3ヶ月以上就労した場合は、一律30,000円を就労支援金として補助しています。

（実績）

令和3年度の実績は、受講料の補助金助成として、3名の方に60,000円（1名あたり

<p>20,000円)を支給しています</p> <p>その後の就業状況については、この制度を開始した平成27年度から令和4年度まで17名の方が研修費の助成を受け、その中の6名の方が町内の事業所への就労につながっています。</p>
<p>質問6</p> <p>4 サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営</p> <p>(3) 介護人材の確保</p> <p>評価がBなので、研修に参加した人の助成はどのくらいだったのか？(何人、いくら)</p> <p>あとその人たちの就業にどう結びついているのかかが大事だと思いますが、その辺についてお願いします。</p>
<p>回答6</p> <p>回答5のとおりです。</p>
<p>質問7</p> <p>資料2</p> <p>評価Bが75%で多くなっていますが、評価基準を見ると単に予定通り実施しただけで効果は検証していないのでしょうか。</p>
<p>回答7</p> <p>今回の評価は、令和3年度における「第8期計画」の具体施策について、取り組んだ内容や課題などの進捗の度合いを評価したものです。</p> <p>「第9期計画」の策定に向けて、「第8期計画」の検証や課題のまとめを行っていきます。</p>

(地域包括支援センター運営協議会)

<p>質問1</p> <p>資料B</p> <p>令和3年度地域ケア会議 出席者に栄養士が入っていませんが、必要ではないでしょうか？今後の予定はありますか。</p>
<p>回答1</p> <p>個別ケースの課題解決を検討していくには、栄養士等の専門職の視点も必要であり、今後実施を検討している介護予防のための地域ケア個別会議において、栄養士等新たな専門職の参加を進めたいと考えております。</p>
<p>質問2</p> <p>資料C</p> <p>相談件数が80件とあるが、実際に相談が出来ない様な方への対応はどうしているの</p>

か？

回答 2

地域包括支援センターには、地域住民の方や民生委員、介護事業所等の様々な方から気になる高齢者がいる旨の相談があり、ご本人や家族からの発信でなくとも何か必要で支援はないか適宜訪問をさせていただいております。今後も、困りごとがある方にいち早く気づくことができるよう、気かけあいまちづくりを推進してまいります。

(地域密着型サービス運営委員会)

質問 1

資料 I

二宮喜楽園の小規模多機能型居宅介護の休止は

延長が続いているが、今後の見通しについては、町としてどう考えているか？

回答 2

二宮喜楽園の小規模多機能型居宅介護については、職員体制の不足により、適切なサービス提供が困難であるため、休止中となっています。町としては、今後も必要なサービスであると考えているため、事業の再開を要請していきます。

質問 2

資料 II

看護小規模多機能型居宅介護の現状を教えてください。

回答 3

現在、開設を予定している事業者との相談に基づき、県の補助金を活用し、山西地区に障害福祉サービスと一体となった施設の整備を予定しています。スケジュールとしては、令和 5 年度に工事を着工し、年度内中に完了、令和 6 年度からの事業開始を予定しています。